



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5																												
開講期間																															
必修選択	選択	単位数	2.0																												
時間割コード	20120566011003	科目番号	05660110																												
授業科目名	●日本国憲法																														
編集担当教員	植木 とみ子																														
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子																														
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目																														
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																												
教室	[全]102																														
対象学生(クラス等)	全学生																														
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@fcv.ne.jp																														
担当教員研究室	非常勤講師室																														
担当教員TEL	092-521-6851																														
担当教員オフィスアワー	上記または 090-4994-5830 にTELしてご相談下さい																														
授業のねらい	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています																														
授業方法(学習指導法)	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています																														
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は語んじていただくことを期待します																														
授業内容	<p>まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身置な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていたために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、入手して下さい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>法とはなにか、憲法と他の法律との関係</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平和主義 (憲法9条、沖縄)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)	3	平和主義 (憲法9条、沖縄)	4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)	5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)	6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)	7	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)	8	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)	9	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)	10	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)	11	基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)	12	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)	13	行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)
回	内容																														
1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係																														
2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)																														
3	平和主義 (憲法9条、沖縄)																														
4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)																														
5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)																														
6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)																														
7	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)																														
8	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)																														
9	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)																														
10	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)																														
11	基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)																														
12	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)																														
13	行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)																														

	14 地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方）
	15 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	日本国憲法の条文を各自用意して下さい(103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません) 裁判例についてはこちらで用意します
成績評価の方法・基準等	判例や条文に関する試験を実施します
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水6																												
開講期間																															
必修選択	選択	単位数	2.0																												
時間割コード	20120566011004	科目番号	05660110																												
授業科目名	●日本国憲法																														
編集担当教員	植木 とみ子																														
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子																														
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目																														
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																												
教室	[全]102																														
対象学生(クラス等)	全学生																														
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@fcv.ne.jp																														
担当教員研究室	非常勤講師室																														
担当教員TEL	092-521-6851																														
担当教員オフィスアワー	上記または 090-4994-5830 にTELしてご相談下さい																														
授業のねらい	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています																														
授業方法(学習指導法)	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています																														
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は語んじていただくことを期待します																														
授業内容	<p>まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身直に判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、入手して下さい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>法とはなにか、憲法と他の法律との関係</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平和主義 (憲法9条、沖縄)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)	3	平和主義 (憲法9条、沖縄)	4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)	5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)	6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)	7	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)	8	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)	9	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)	10	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)	11	基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)	12	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)	13	行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)
回	内容																														
1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係																														
2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)																														
3	平和主義 (憲法9条、沖縄)																														
4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)																														
5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)																														
6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)																														
7	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)																														
8	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)																														
9	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)																														
10	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)																														
11	基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)																														
12	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)																														
13	行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)																														

	14 地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方）
	15 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	日本国憲法の条文を各自用意して下さい(103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません) 裁判例についてはこちらで用意します
成績評価の方法・基準等	判例や条文に関する試験を実施します
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水6																												
開講期間																															
必修選択	選択	単位数	2.0																												
時間割コード	20120566011005	科目番号	05660110																												
授業科目名	●日本国憲法																														
編集担当教員	植木 とみ子																														
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子																														
科目分類	自由選択科目、人文・社会科学科目																														
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																												
教室	[全]新棟7																														
対象学生(クラス等)	全学生																														
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@fcv.ne.jp																														
担当教員研究室	非常勤講師室																														
担当教員TEL	092-521-6851																														
担当教員オフィサー	上記または 090-4994-5830 にTELしてご相談下さい																														
授業のねらい	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています																														
授業方法(学習指導法)	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています																														
授業到達目標	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は語んじていただくことを期待します																														
授業内容	<p>まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身直に判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていたくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、入手して下さい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>法とはなにか、憲法と他の法律との関係</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平和主義 (憲法9条、沖縄)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係	2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)	3	平和主義 (憲法9条、沖縄)	4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)	5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)	6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)	7	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)	8	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)	9	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)	10	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)	11	基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)	12	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)	13	行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)
回	内容																														
1	法とはなにか、憲法と他の法律との関係																														
2	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)																														
3	平和主義 (憲法9条、沖縄)																														
4	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)																														
5	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)																														
6	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)																														
7	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)																														
8	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)																														
9	人身の自由 (適正手続きとは、死刑制度について)																														
10	社会権 (生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権)																														
11	基本的人権の限界 (公務員、外国人、私的關係)																														
12	立法 (国会の二院制は必要か、一票の重みの格差)																														
13	行政と司法 (議員内閣制、行政の肥大化、裁判所の組織、裁判員制度)																														

	14	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方）
	15	憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		日本国憲法の条文を各自用意して下さい(103条しかありませんから、コピーしてもたいしたことはありません) 裁判例についてはこちらで用意します
成績評価の方法・基準等		判例や条文に関する試験を実施します
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

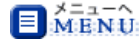


戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120568003007	科目番号	05680030
授業科目名	●物理学		
編集担当教員	近藤 慎一郎		
授業担当教員名(科目責任者)	近藤 慎一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	近藤 慎一郎		
科目分類	自由選択科目、自然科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟6		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	kondou@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合教育研究棟5F 504		
担当教員TEL	095-819-2635		
担当教員オフィスアワー	月曜5校時		
授業のねらい	広範な範囲での物理学について概要を講義し、物理学のものの見方 考え方を理解してもらう。		
授業方法(学習指導法)	講義形式で行う		
授業到達目標	物理的な思考法を身につける。物理的に社会を眺める		
授業内容	回	内容	
	1	力学の初歩 力学の見方 考え方	
	2	古典力学 落体の運動 天体の運行	
	3	電磁気学 電場と磁場	
	4	電磁気学 電磁誘導と電磁波	
	5	量子力学 古典力学との違い ハイゼンベルグの不確定性原理	
	6	量子力学 schrödingerの波動方程式とは	
	7	量子力学 固体物理学への応用(1)	
	8	量子力学 固体物理学への応用(2)	
	9	非線形力学 カオス系とは?	
	10	非線形力学 カオス系での予測	
	11	非線形力学 地球磁気の不思議な挙動	
	12	化学物理学 分子物理学と量子化学	
	13	化学物理学 化学反応の物理学	
	14	生物物理学 数理生物学 生物の戦略と物理学	
	15	生物物理学 たんぱく質とligandとの物理学 癌におけるsystem biologyとdry bioinformaticsへ	
16			
キーワード	物理的思考 現代物理学 周辺分野		
教科書・教材・参考書	適宜 プリント等を用意する		
	定期考査(60%)		



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120569000701	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸, 藤澤 秀雄		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]321		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	anan@sings.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL			
担当教員オフィサー			
授業のねらい	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業方法(学習指導法)	講義形式		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、「長崎の被差別部落」を取り上げる。		
	回	内容	
	1	4月11日「解放講座」開設の意義について(藤澤秀雄)	
	2	4月18日 変化する「部落」観(阿南重幸)	
	3	4月25日 変化する部落観(阿南重幸)	
	4	5月 2日 日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)	
	5	5月 9日 日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)	
	6	5月16日 在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)	
	7	5月23日 在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)	
	8	5月30日 ハンセン病と差別(阿南重幸)	
	9	6月 6日 ハンセン病と差別(阿南重幸)	
	10	6月13日 教科書に見る部落問題(阿南重幸)	
	11	6月20日 教科書に見る部落問題(阿南重幸)	
	12	6月27日 部落の歴史を再考する(阿南重幸)	
	13	7月 4日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」(阿南重幸)	
	14	7月11日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)	
15	7月18日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		

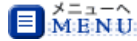
	16
キーワード	人権 体験 知識
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 50 出席 50
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

Login User 松尾 成則 『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1792秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120569000702	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸, 藤澤 秀雄		
科目分類	自由選択科目、A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟5		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	anan@sings.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL			
担当教員オフィサー			
授業のねらい	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業方法(学習指導法)	講義形式		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、「長崎の被差別部落」を取り上げる。		
	回	内容	
	1	10月 5日「解放講座」開設の意義について(藤澤秀雄)	
	2	10月12日 変化する「部落」観(阿南重幸)	
	3	10月19日 変化する部落観(阿南重幸)	
	4	10月26日 日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)	
	5	11月 2日 日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)	
	6	11月 9日 在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)	
	7	11月16日 在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)	
	8	11月30日 ハンセン病と差別(阿南重幸)	
	9	12月 7日 ハンセン病と差別(阿南重幸)	
	10	12月14日 教科書に見る部落問題(阿南重幸)	
	11	12月21日 教科書に見る部落問題(阿南重幸)	
	12	1月 4日 部落の歴史を再考する(阿南重幸)	
	13	1月18日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」(阿南重幸)	
	14	1月25日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)	
15	2月 1日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		

	16
キーワード	人権 体験 知識
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 50 出席 50
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



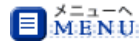
参照URL

学期	集中(後)	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120569001101	科目番号	05690011
授業科目名	●全学乗船実習		
編集担当教員	合田 政次		
授業担当教員名(科目責任者)	合田 政次		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	合田 政次		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	goda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	水産学部本館3階		
担当教員TEL	095-819-2805		
担当教員オフィスアワー	火・金曜日1400～1500		
授業のねらい	海洋と文化で学んだ内容を、より身近な問題として実践的な視点で捉えるため、練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。この体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、コミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業方法(学習指導法)	乗船実習中に操船、海洋観測、トロール操業、魚類の加工、ロープの結び方等の演習を行う。また、一時上陸して、水族館、魚市場等の見学を行う。		
授業到達目標	海洋及び船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習および海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
授業内容	<p>海には色々な用途を持った船が動いているが、その内の練習船長崎丸は水産学部学生の実習・調査・研究のため運航されている。その船を使って船舶運航、漁労、海洋観測を行い、海洋・船への関心を深める。また、漁獲された魚がどのように人間の生活に関係を持っているか実習・見学にて学ぶ。異分野の学生同士が船内生活を通してコミュニケーションを深めていく。</p> <p>事前講義Ⅰ 実習の目的・概要・船内生活注意・見学施設等について 事前講義Ⅱ 船、海洋観測、トロール操業に関する基礎知識</p> <p>実習1日目 乗船、船内ガイダンス、海洋観測、トロール操業</p> <p>2日目 天候・海況により変更があるが以下の項目を実施する。 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査 ロープ結索練習、救命艇操練、船の位置測定</p> <p>3日目 入港、陸上施設見学</p> <p>4日目 陸上施設見学(魚市場等)、出港、魚類加工</p> <p>5日目 下船時のガイダンス、下船、実習の総括、レポート作成。</p> <p>なお、天候・海況によっては実習の内容を大きく変更すること がある。</p>		
キーワード	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書			

成績評価の方法・基準等	実習への取り組み状況 70% レポート 30%
受講要件(履修条件)	・受講定員は40名(多数の場合は抽選により決定 する) ・受講者は必ず損害保険に加入すること。 ・受講にかかる費用は食費及び陸上施設利用料 計 8000円程度
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120569061401	科目番号	05690614
授業科目名	●オランダの文化		
編集担当教員	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教]25講義室		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい			
授業方法(学習指導法)			
授業到達目標			
授業内容			
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120569061501	科目番号	05690615
授業科目名	●オランダの言語		
編集担当教員	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい			
授業方法(学習指導法)			
授業到達目標			
授業内容			
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	集中(後)	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588000101	科目番号	05880001
授業科目名	●特別活動論		
編集担当教員	柳田 泰典		
授業担当教員名(科目責任者)	柳田 泰典		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	柳田 泰典		
科目分類	自由選択科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい			
授業方法(学習指導法)			
授業到達目標			
授業内容			
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			



戻る



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	集中(前)	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588000701	科目番号	05880007
授業科目名	●生徒・進路指導		
編集担当教員	朝長 昌三		
授業担当教員名(科目責任者)	朝長 昌三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	朝長 昌三		
科目分類	自由選択科目、教職に関する科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	集中講義のため、開講日の休み時間に非常勤講師		
授業のねらい	生徒指導の目的は、生徒一人一人の自己指導能力と自己指導的態度を育成すること、とされている。すなわち、生徒一人一人の人格の発達を目指した指導とされている。 このような生徒指導の目的を達成させるために必要な資質や技法を学習することをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)			
授業到達目標	生徒指導及び進路指導の意味、目的、方法について考察することができる。		
授業内容	生徒指導の目的を達成させるために必要な資質や技法を以下のような手順で学習する。		
	回	内容	
	1	1. 生徒指導の意義	
	2	2. 生徒指導の定義	
	3	3. 生徒指導の課題	
	4	4. 生徒指導の原理	
	5	5. 学習指導要領における生徒指導	
	6	6. 生徒指導の目的	
	7	7. 生徒指導の内容	
	8	8. 生徒指導の方法	
	9	9. 生徒指導のまとめ	
	10	10. 進路指導とは	
	11	11. 在り方・生き方の教育	
	12	12. 在り方・生き方を育む5つの法則	
	13	13. 学習指導要領における進路指導	
	14	14. 進路指導における啓発的経験	
15	15. 進路指導のまとめ		

	16
キーワード	
教科書・教材・参考書	生徒指導の機能と方法, 坂本昇一, 文教書院
成績評価の方法・基準等	評価方法 生徒指導の試験50%, 進路指導の試験50%.
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	集中(前)	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588005001	科目番号	05880050
授業科目名	●私たちと法		
編集担当教員	江口 勇治		
授業担当教員名(科目責任者)	江口 勇治		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	江口 勇治		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生(クラス等)	全学生		
担当教員Eメールアドレス	guchiyu@human.tsukuba.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー			
授業のねらい	授業のねらいは、日常生活において求められる法・ルール・きまりの意義やその指導の在り方を考えることから、今求められるリーガル・リテラシーの基礎について、「法教育」の側面から実際的にとらえることである。なお授業者は法律学の専門家ではなく、小・中・高校での法教育を訴えてきた教育学の研究者でありその角度から「法」を考える。		
授業方法(学習指導法)	アメリカの小学校で作られたテキストを利用して、「正義・公正』『責任』『権威』『自由』『幸福』などの観念を、日常生活の実態に移して実際に考えさせる。授業では設問を用意し、それについて対話するという形式を随時取り入れた。また「法的な見方や考え方」の模擬授業も可能な計画する。		
授業到達目標	法学の素人であっても、法・ルール・きまりに向き合うことを理解し、人々とともに規範を共有することの意義と限界を考えられることをこの授業のもっとも基礎的な到達点とする。あわせて一層、法・司法などへの専門的な興味・関心が高まることもねらいたい。		
	集中講義のため、講義をおおよそ四つもパートにわけて、授業内容にメリハリをつける。具体的には、①では「法的な見方や考え方」に向き合うことを共有する講義を実施する。②では、「私たちと法」のテーマとして「正義」「責任」「権威」「自由」について、日常での設問からその実際をそれぞれに考えさせる。③では、そこで共に議論された内容をより深めるために、法的な見方や考え方としてとらえさせる。④では互いに確認されたことを「子供たちに教育する」という視点に立って模擬的な授業をつくりあげる。なおこれまで実施してきた法教育の取り組みや授業の実際についてビデオ等を視聴することも設定する。		
	回	内容	
	1	第一回 オリエンテーション 「私たちと法」の科目の意義と「法教育」についての説明を行う。	
	2	第二回 法教育のこれまでの取り組みと法曹三者の法教育への関与等についての概略を示すとともに、新学習指導要領での法教育の位置づけを講義する。	
	3	第三回 アメリカのテキストを参考に「正義」「責任」を法や司法の側面から考えることの意義を理解するとともに、その共有の仕方等について考える。	
	4	第四回 同様に「権威」「自由」のテーマをもとに話し合い、あわせて我が国の子供たちが学ぶべき「公正」「幸福」「正義」などについて学校教育の側面からとらえることの意義を講義する。	
	5	第五回 「正義」のもとで「私たちと法」の論点から、日常的な事例を設定し、その問題への向き合い方や解決方法等を互いに話し合い、整理することを通じて「正義」や「公正」の日常的な価値を法とのかかわりからとらえる。	
	6	第六回 『責任』をとらえることの意味を同じように「日常性」から考える設問を設定し、それについての議論を通じて、法的な『責任』とその他の『責任』の異同について互いに話し合う。	
		第七回 「権威」「自由」について、政治的な見方、経済的な見方、法的な見方からそれぞれの社会的価値を考	

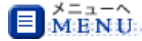
授業内容	7	えるとともに、私たちの生活においてそれぞれの有効性を、個別具体的な事例をもとに話し合い、法的な見方の特徴を共有する。	
	8	第八回 以上の議論整理の中から重要と思われる具体的な紛争・対立的な構図をより実際的にお互いに話し合い、問題の整理とその解決に向けた取り組みを行う。なおここではおもに学校での教育や教材を想定して、その題材を設定する。	
	9	第九回 第八回と同じ形式で、具体的な問題をもとに、法的な思考をとらえることの意義を私たちの生活との関わりから考える。なお公的なことと私的なことの違いについての理解を深める工夫を合わせて行う。	
	10	第十回 小・中・高校のそれぞれの学校段階を想定して、「私たちと法」ということで重要と思われる題材や教材をお互いにつくり模擬授業を実施し、その評価を話し合い、その修正を行う。	
	11	第十一回 第十回と同じような活動や作業を実施し、「法」を現代において観念し共有する意義と問題点、限界などを話し合う。	
	12	第十二回 これまでの授業を整理するとともに、法的な事柄を超えて向き合い、物事を進めようとする人々の活動や考え方にも着目して、「私たちと法」の関係を多面的に考えることの大切さを理解する。	
	13	第十三回 法教育の在り方を学校教育ばかりでなく、生涯学習社会の教育の在り方としても考える視点を持ち、日常に生きる人々にとっての法的な見方や考え方の意義や可能性について、教材という形で成果を構想する。	
	14	第十四回 「私たちと法」という視点の持つ意味を、地域的に考え、社会の安心等に資する学び方の方向性を提案する。あわせて国際的にも考える必要性についても話し合い、その論点を整理する。	
	15	第十五回 ある具体的な紛争的な問題を設定し、対話・対審的に議論し、審議することから生まれる法的な見方や考え方の価値を検討する。	
	16	第十六回 具体的な課題に対して、レポートを提出し、文書として論点を整理、保存することの意義を学ぶ。	
	キーワード	法的な見方や考え方 法教育 リーガル・リテラシー	
	教科書・教材・参考書	教科書は用いない。適宜資料を印刷し、配布する。	
	成績評価の方法・基準等	授業へ参加・貢献度(30%)、講義での小レポートの評価(20%)、レポート(50%)をもとに、総合的に評価する。	
	受講要件(履修条件)		
	本科目の位置づけ		
	学習・教育目標		
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1785秒です。



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588005101	科目番号	05880051
授業科目名	●日本の思想文化		
編集担当教員	佐久間 正		
授業担当教員名(科目責任者)	佐久間 正		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	佐久間 正		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	sakuma@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階407研究室		
担当教員TEL	095-819-2731		
担当教員オフィスアワー	授業終了後30分		
授業のねらい	日本の歴史に対する理解を踏まえ、日本の思想の内容と特徴について基本的知識を有するとともに、それらについて簡単な説明ができる。多文化社会における思想と文化のあり方について適切に理解できる。		
授業方法(学習指導法)	教科書は用いず、配布する授業内容のレジュメ資料に基づいて授業を進め、適宜討論の時間を設ける。また受講生は授業内容及び指定された文献を読み、意見を述べるのが義務づけられる。		
授業到達目標	日本の歴史に関する理解を踏まえ、日本の思想の内容と特徴について基本的な知識を有し簡単な説明ができる。多文化社会における思想と文化のあり方について適切に理解できる。		
授業内容	回	内容	
	1	はじめに	
	2	言語、思想、文化	
	3	列島の自然と文化、中華帝国とその周縁	
	4	土着、外来、日本化	
	5	仏教(1) 伝来、古代仏教	
	6	仏教(2) 鎌倉仏教	
	7	仏教(3) 室町～徳川期	
	8	儒教(1) 伝来、古代～戦国期	
	9	儒教(2) 徳川儒教	
	10	儒教(3) 徳川儒教(続き)	
	11	神道(1) 神道の形成	
	12	神道(2) 徳川期、国学	
	13	キリスト教 伝来と禁教、南蛮学、蘭学、洋学	
	14	近代日本の思想文化	
	15	おわりに	
16	定期試験		
キーワード	土着、外来、日本化、神道、儒教、仏教		

教科書・教材・参考書	教科書は特に用いず、授業内容のレジュメ資料を配付する。参考文献は適宜紹介する。
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、授業への参加(30%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	高校の日本史及び倫理の教養・知識は身につけていることを前提とする。それらを受講しなかった者は少なくともそれらの教科書を読んでおくこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水5																								
開講期間																											
必修選択	選択	単位数	2.0																								
時間割コード	20120588005201	科目番号	05880052																								
授業科目名	●ジェンダーと法																										
編集担当教員	植木 とみ子																										
授業担当教員名(科目責任者)	植木 とみ子																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植木 とみ子																										
科目分類	自由選択科目																										
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																								
教室	[全]新棟2																										
対象学生(クラス等)	全学生																										
担当教員Eメールアドレス	tuterrace@fcv.ne.jp																										
担当教員研究室	非常勤講師室																										
担当教員TEL	092-521-6851																										
担当教員オフィスパワー	上記または 090-4994-5830 にTELして、ご相談下さい																										
授業のねらい	いまだ男女共同参画が実現していない現代日本社会にあって、ジェンダーバイアスとは何かを見る目を養い、バイアスにとらわれていることで、日本人がいかに精神的、経済的に貴重なものを逃しているかに気づいていただきます																										
授業方法(学習指導法)	基本的には講義ですが、みなさんに自分で考えていただくために演習形式も取り入れて、できるだけ多く質問を投げかけ、一緒に考えて行きたいと思っています。みなさんには積極的に参画していただきたいと思います																										
授業到達目標	すぐにはものの見方、考え方が変わるとは思われませんが、少なくとも身の回りの事象を歴史的・大局的に見る訓練をする事により、グローバルスタンダードを持ち、今の日本の閉塞状況を打ち壊すことができるような、自立した大人になるお手伝いをします																										
授業内容	<p>「第一部 ジェンダーはどうか形成されてきたか(1～3)」では、過去の男女のジェンダー役割とその変遷を振り返ります 「第二部 男女共同参画社会形成への道(4～6)」では、国際婦人年をきっかけにした女子差別撤廃から男女共同参画までの世界と日本の歩みを見ます 「第三部 いまだ残る問題点(7～13)」では、わが国においていまだ根深くある様々なジェンダーバイアスの実態を知り、そのことがいかに社会問題を引き起こしているかを検証します 「第四部 真の男女共同参画社会の実現に向けて(14～15)」では、ジェンダーバイアスにとらわれないしなやかな生き方ができるための方策を探ります あらかじめ決まったテキストはありません。毎回プリントを配布しますし、関連した文献を紹介いたします</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>歴史に見る男女の姿 (古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>明治から昭和初期の女性 (天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>戦後の解放 (憲法、民法改正の中での女性の地位、高度経済成長と男女の役割)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>世界的な女性解放の潮流 (国際婦人年をきっかけに、「女子差別撤廃条約」登場の背景)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>世界の現状 (北欧先進諸国の女性たち、開発途上国の女性たち)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>日本の取組み (国の「婦人問題企画推進本部」設置から、「男女雇用機会均等法」制定の舞台裏)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>いまだ残る問題、法律 (なぜ愛子様は天皇になれないの、皇室典範や民法に残る男系主義)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>いまだ残る問題、政治 (政治はだれのもの、日本の女性議員の割合は世界でも超低レベル)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>いまだ残る問題、雇用 (女性の平均賃金は男性の半分、女性が働き続けられないワケ)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>いまだ残る問題、社会保障 (女性たちはなぜ子どもを産まないか、主婦の年金は誰が払うの)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>DV、セクシャルハラスメント (配偶者からの暴力に耐えてきた女性たち、セクシャルハラスメントの根底にあるもの)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	歴史に見る男女の姿 (古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義)	2	明治から昭和初期の女性 (天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」)	3	戦後の解放 (憲法、民法改正の中での女性の地位、高度経済成長と男女の役割)	4	世界的な女性解放の潮流 (国際婦人年をきっかけに、「女子差別撤廃条約」登場の背景)	5	世界の現状 (北欧先進諸国の女性たち、開発途上国の女性たち)	6	日本の取組み (国の「婦人問題企画推進本部」設置から、「男女雇用機会均等法」制定の舞台裏)	7	いまだ残る問題、法律 (なぜ愛子様は天皇になれないの、皇室典範や民法に残る男系主義)	8	いまだ残る問題、政治 (政治はだれのもの、日本の女性議員の割合は世界でも超低レベル)	9	いまだ残る問題、雇用 (女性の平均賃金は男性の半分、女性が働き続けられないワケ)	10	いまだ残る問題、社会保障 (女性たちはなぜ子どもを産まないか、主婦の年金は誰が払うの)	11	DV、セクシャルハラスメント (配偶者からの暴力に耐えてきた女性たち、セクシャルハラスメントの根底にあるもの)
回	内容																										
1	歴史に見る男女の姿 (古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義)																										
2	明治から昭和初期の女性 (天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」)																										
3	戦後の解放 (憲法、民法改正の中での女性の地位、高度経済成長と男女の役割)																										
4	世界的な女性解放の潮流 (国際婦人年をきっかけに、「女子差別撤廃条約」登場の背景)																										
5	世界の現状 (北欧先進諸国の女性たち、開発途上国の女性たち)																										
6	日本の取組み (国の「婦人問題企画推進本部」設置から、「男女雇用機会均等法」制定の舞台裏)																										
7	いまだ残る問題、法律 (なぜ愛子様は天皇になれないの、皇室典範や民法に残る男系主義)																										
8	いまだ残る問題、政治 (政治はだれのもの、日本の女性議員の割合は世界でも超低レベル)																										
9	いまだ残る問題、雇用 (女性の平均賃金は男性の半分、女性が働き続けられないワケ)																										
10	いまだ残る問題、社会保障 (女性たちはなぜ子どもを産まないか、主婦の年金は誰が払うの)																										
11	DV、セクシャルハラスメント (配偶者からの暴力に耐えてきた女性たち、セクシャルハラスメントの根底にあるもの)																										

	12	家族の崩壊（夫の役割と妻の役割、いま子どもは育っているか）
	13	ジェンダーバイアス社会の不幸（人と人との分断、なぜリーダー育成ができないのだろうか）
	14	ワークライフバランスとは（意識の変革…教育・政治を変えよう、仕組みの変革…地域・企業を変えよう）
	15	新たな生き方の提示（高齢社会は資源の宝庫、一度の人生を悔いなく生きる）
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		プリント配布、そのつど参考文献を紹介する
成績評価の方法・基準等		授業での積極的発言、毎回の短い感想文、定期試験の成績を総合評価する
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588005301	科目番号	05880053
授業科目名	●芸術と文化		
編集担当教員	堀内 伊吹		
授業担当教員名(科目責任者)	堀内 伊吹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	堀内 伊吹		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]21講義室		
対象学生(クラス等)	主対象、1年~4年		
担当教員Eメールアドレス	horiuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部音楽棟2階206(改修工事の場合は変更します)		
担当教員TEL	095/819-2343		
担当教員オフィスアワー	水曜日 5時間目		
授業のねらい	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業方法(学習指導法)	視聴覚機器を活用して、またその分野のゲストをお迎えしての講義と文化施設に出かけての演習。		
授業到達目標	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	この授業の進め方、ガイダンス	
	2	「マスメディアと文化①」	
	3	「マスメディアと文化②」ゲストスピーカーを迎えて	
	4	文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう①	
	5	「長崎の歴史と文化①」	
	6	「長崎の歴史と文化②」ゲストスピーカーを迎えて	
	7	文化施設に出かけてみよう	
	8	「美術と音楽①」	
	9	「美術と音楽②」ゲストスピーカーをお迎えして	
	10	クリスマスの音楽	
	11	長崎県美術館のロビーコンサートに参加してみよう	
	12	「文化芸術と長崎①」	
	13	「文化芸術と長崎②」ゲストスピーカーをお迎えして	
	14	「長崎の音楽活動①」	
	15	「長崎の音楽活動②」	
16	(予備)		
キーワード	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭		
教科書・教材・参考書	その都度指示します		
	推薦する文化施設訪問から2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポートによる評価を行う。		

成績評価の方法・基準等	
受講要件(履修条件)	心を静めて芸術鑑賞ができること
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	芸術的な感性のトレーニング、芸術を鑑賞するための基礎知識の習得
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588005401	科目番号	05880054
授業科目名	●共生のグローバル人類学		
編集担当教員	増田 研		
授業担当教員名(科目責任者)	増田 研		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	増田 研,波佐間 逸博,佐藤 美穂		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[環]341		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	ken-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境401(増田研究室)		
担当教員TEL	095-819-2734		
担当教員オフィスマナー	随時(事前連絡が必要)		
授業のねらい	<p>グローバル化された世界における共生のあり方を、文化人類学という武器を使って探る。これがこの「共生のグローバル人類学」という講義の目的である。文化人類学は異文化については文化的他者を理解する学問であり、なおかつ、人類文化の普遍性を明らかにする学問である。</p> <p>他方、私たちが生きる世界においては、共生の重要性を誰もが認めつつも、それと真向から対立する出来事が充ち満ちている。必要なことは「過去に学び、現在を理解し、未来を構想する」、そのための身のこなしを習得することであり、そのこと自体の重要性を理解することであろう。またグローバル化された世界を構想する力を養うことは、自らのポジションを見定めることでもある。</p>		
授業方法(学習指導法)	原則として講義科目であるが、場合によってワークショップ形式を取り入れることもある。(実際の授業運営は受講人数によって調整される。)		
授業到達目標	<p>(1)現代世界が抱える問題について、歴史的背景を把握しながら理解し、説明できる。</p> <p>(2)社会的事象に対する文化人類学アプローチの特色を理解し、説明できる。</p> <p>(3)現在進行している「共生」への模索と、その解決の道筋を構想し、主張することが出来る。</p>		
授業内容	回	内容	
	1	現代社会の多様な問題と「共生」(増田) ★現代社会の問題を意識し、「共生」へと関心を開くこと	
	2	世界はボーダーレスの球面である(増田) ★世界の「つながり」を認識し、自らが生きる「狭い世界」の脈絡とつなげる。	
	3	帝国主義と植民地、世界システム(増田) ★異文化交流の問題を、世界史的視野において理解する。	
	4	文化人類学のアプローチ(増田) ★文化人類学の出現から現在までのアプローチの変遷を理解する。	
	5	エスノグラフィーを書く:紛争と健康と教育(増田) ★増田によるエチオピアでのフィールドワーク実践例を通して、現代的課題に対する取り組みの事例を知る。	
	6	アフリカにおける紛争の研究:導入(波佐間・増田) ★アフリカにおける紛争の概要と、その理解のパラダイムを知る。	
	7	敵対と友好を揺れ動く民族間関係(波佐間・増田) ★北東ウガンダの牧畜民社会の紛争の事例から民族間関係の動態を理解する。	
	8	マスメディアがむける東アフリカの民族紛争へのまなざし(波佐間・増田)	

	★マスメディアが広めるアフリカへのステレオタイプを批判する。
9	東アフリカ牧畜社会での平和構築と外部介入(波佐間・増田) ★ケニア・カクマ難民キャンプの事例をもとに、平和構築のあり方を理解する。
10	社会開発(Development)とは何か?(増田) ★共生的関与のあり方のひとつである「社会開発」の概要と、その歴史的経緯を理解する。
11	第二次世界大戦中、戦後の人類学の歴史的背景(佐藤・増田) ★人類学の発展の背景の具体例および、戦中の人類学の目的と戦後のそれに対する批判を理解する。
12	世界銀行の中での人類学、人類学者(佐藤・増田) ★世界銀行の開発政策の変遷とそこでの人類学者の役割を理解し、世界銀行の人類学者らが提唱する国際開発のキーワードとその概念を説明できるようにする。
13	開発と人類学:事例紹介(1)(佐藤・増田) ★人類学的アプローチを開発プロジェクトに応用した事例を通して、その特長、特色を理解する。
14	開発と人類学:事例紹介(2)およびまとめ(佐藤・増田) ★人類学的アプローチを保健プロジェクトに応用した事例を通して、その特長、特色を理解する。
15	全体の総括(増田) ★講義全体の総括を行う。
16	
キーワード	文化人類学、多文化共生、紛争、開発、異文化理解
教科書・教材・参考書	教科書はとくに指定しないが、以下のものを参考書として挙げておく。(その他の推薦資料については講義中に適宜紹介する。) 奥野克巳・花淵馨也(編)『文化人類学のレッスン』(学陽書房)、2005年 佐藤 寛、藤掛 洋子編著『開発援助と人類学—冷戦・蜜月・パートナーシップ—』明石書店 2011年
成績評価の方法・基準等	毎回のレスポンスペーパー(40%)および試験(60%)によって評価する。
受講要件(履修条件)	受講生は以下の点を努力して欲しい。 (1)可能な限り全ての回に出席すること(すべての講義が一続きになるようにシラバスを設計しており、欠席すると理解が追いつかないかもしれない。) (2)社会情勢とりわけ世界の出来事をよく知っていることが望ましい。日常生活において新聞を読むことを習慣とすること(インターネット上の「ネット記事」ではダメである。)
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588005501	科目番号	05880055
授業科目名	●社会学		
編集担当教員	南 誠		
授業担当教員名(科目責任者)	南 誠		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	南 誠		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟4		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	lsk-minami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	社会学の基礎知識と社会を捉えるための方法を習得することにある。		
授業方法(学習指導法)	基本的には、パワーポイントを用いた講義形式による。		
授業到達目標	社会学の考え方と方法の習得をとおして、現代社会を理解・研究するための力を身につけることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	ビデオで社会学 社会学の視点	
	3	ビデオで社会学 行為の理解と社会的現実	
	4	ビデオで社会学 社会化と通過儀礼	
	5	ビデオで社会学 集団と組織	
	6	ビデオで社会学 ジェンダーと家族	
	7	ビデオで社会学 地域社会と生活構造	
	8	ビデオで社会学 社会階層と社会移動	
	9	ビデオで社会学 高齢化社会と生活	
	10	ビデオで社会学 情報化社会と疑似環境	
	11	ビデオで社会学 民族とエスニシティ	
	12	社会を捉える方法	
	13	同上	
	14	映像で社会的試み	
	15	同上	
16	まとめ		
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業および討論への参加度(20%)		

受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

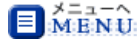


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1795秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588005601	科目番号	05880056
授業科目名	●日本の言語と文化		
編集担当教員	池田 幸恵		
授業担当教員名(科目責任者)	池田 幸恵		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 幸恵		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[環]342		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	yu-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環406		
担当教員TEL	819-2738		
担当教員オフィスアワー	木曜日14:30-16:00		
授業のねらい	現代日本語に興味を持ち、日本語に関する理解を深める。		
授業方法(学習指導法)	毎回宿題を出し、その解答を次回の講義で解説する。		
授業到達目標	正しい日本語表記ができる。日本語の語彙や文法についての知識を身につける。正しい敬語を理解する。		
授業内容	現代日本語に関する諸問題について、音声・文字・語彙・文法などのテーマごとに講義する。 日本語を学ぶことを通じて、日本文化への理解を深める。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	日本語の音声(1)	
	3	日本語の音声(2)	
	4	日本語の文字(1)漢字	
	5	日本語の文字(2)仮名	
	6	日本語の文字(3)ローマ字	
	7	日本語の語彙(1)和語と漢語	
	8	日本語の語彙(2)外来語	
	9	日本語の語彙(3)語の意味	
	10	日本語の文法(1)自立語	
	11	日本語の文法(2)付属語	
	12	日本語の待遇表現(1)	
	13	日本語の待遇表現(2)	
	14	方言	
	15	まとめ	
16	定期試験		
キーワード	日本語 文字 語彙 文法		

教科書・教材・参考書	教科書:プリントを配布する。 参考書:沖森卓也他『図解日本語』(三省堂、2006)
成績評価の方法・基準等	定期試験 50%、提出した宿題の質 50%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

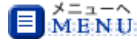


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1791秒です。



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588010001	科目番号	05880100
授業科目名	●平成長崎塾		
編集担当教員	高橋 正克		
授業担当教員名(科目責任者)	高橋 正克		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高橋 正克, 姫野 順一, 相川 忠臣, 若木 太一, 布袋 厚		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	takahasi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部新館2F(高橋研究室)		
担当教員TEL	095-819-2090 (Ext 2090)		
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00~13:00, この時間以外は、事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業のねらい	笈を負うて長崎に游学する....長崎は昔から町全体が大学だった...ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？文学は？大地の生い立ちは？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街や大地を多面的な切り口から知り、そして考えます。また、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域活性や社会貢献の意欲を持ってもらうこともねらいとします。		
授業方法(学習指導法)	基本的に講義形式で行うが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業到達目標	長崎大学や長崎の歴史、文化、文学の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付けることです。		
授業内容	長崎大学や長崎の歴史、文化、外交、文学、生い立ちなどについて、それぞれ専門の担当教員・講師が、ユニーク、かつ多面的な切り口で講義します。		
	回	内容	
	1	科目の趣旨説明、講義概要、講義の進め方、長崎大学の現況(高橋)	
	2	1)フォン・シーボルトと鳴滝塾(相川)	
	3	2)海軍伝習と日本の近代化(相川)	
	4	3)ボンベ・ファン・メルデルフォールの医学伝習(相川)	
	5	1)シーボルトの商業学校設立案と江戸時代の長崎(姫野)	
	6	2)長崎における近代的学校の成立(姫野)	
	7	3)長崎高等商業学校の設立と武藤長蔵(姫野)	
	8	4)原爆被災と長崎大学(姫野)	
	9	1)近世の情報システム(若木)	
	10	2)近世の外交:朝鮮半島と中国(若木)	
	11	3)近世長崎の学芸:向井去来を中心に(若木)	
	12	1)長崎の大地の生い立ち(布袋)	

	13	2)江戸時代の長崎の町の復元(布袋)
	14	3)水族館のビオトープづくりとよみがえる里山(布袋)
	15	長崎市内の散策紹介, 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ(高橋)
	16	
キーワード	長崎大学 長崎 長崎学 シーボルト ポンペ 歴史 文化 文学 外交 大地の生い立ち 江戸時代 復元	
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。適宜, ハンドアウトを配布します。	
成績評価の方法・基準等	毎回の積極的な授業への出席を前提に, 提出するレポートで評価します(100%)。	
受講要件(履修条件)	原則として全回出席し, レポートを提出することを単位認定の要件とします。	
本科目の位置づけ	本科目を履修し, 長崎学に対するより深い興味を持ち, 自学・自習を基盤とするアクティブラーニングへの習慣性を身に付けます。長崎検定などに合格することも, 自主的学習態度の継続に効果的といえます。	
学習・教育目標	長崎大学や長崎の歴史, 文化など多面的に知り, 長崎大学生であることを誇りに思い, 長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることです。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

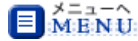


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1769秒です。



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588010101	科目番号	05880101
授業科目名	●男女共同参画のすすめ		
編集担当教員	大井 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	大井 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大井 久美子		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟7		
対象学生(クラス等)	特に制限なし		
担当教員Eメールアドレス	knockout@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	男女共同参画推進センター		
担当教員TEL	095-819-2179		
担当教員オフィスアワー	15～17時		
授業のねらい	自分が意義や価値を見いだす課題を見つける。 異なった文化や価値観に関心をもつ。		
授業方法(学習指導法)	グループ討論等		
授業到達目標	生命にとっての多様性の意義を見いだす。		
授業内容	回	内容	
	1	男女共同参画社会とワークライフバランス	
	2	日本と世界の子育て	
	3	子育てと夫婦関係	
	4	子ども達のライフハザード	
	5	親子のコミュニケーション形成	
	6	育児に困惑する母親達の存在	
	7	育児支援施策	
	8	乳幼児の心身の発育・発達	
	9	思春期の心身の発育・発達	
	10	仕事に対する多様な選択	
	11	女性のキャリア形成	
	12	世界における女性研究者の位置	
	13	男女共同参画推進の壁	
	14	男女共同参画を推進する力	
	15	職場の働きやすい環境とは	
16	試験		
キーワード	男女共同参画、ライフワークバランス、多様性、		
教科書・教材・参考書	未定		

成績評価の方法・基準等	レポート(50%)、テスト(50%)
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ	男女共同参画社会実現のための推進力となる
学習・教育目標	自分が意義や価値を見いだす課題を見つける。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120588010201	科目番号	05880102
授業科目名	●疑似科学とのつき合い方		
編集担当教員	安部 俊二		
授業担当教員名(科目責任者)	安部 俊二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	安部 俊二		
科目分類	自由選択科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]430		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	abe-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階617研究室		
担当教員TEL	095(819)2309		
担当教員オフィスアワー	水曜6講時		
授業のねらい	現代社会に蔓延する各種の疑似科学について学び、それらがなぜ疑似科学と呼ばれるのかを理解することによって、科学的なものの見方を獲得する。 さらに科学の「限界」を把握し、科学と価値の関係の理解を通じて、自律的に生きるための基礎力を養う。		
授業方法(学習指導法)	黒板への番書やスライド、ビデオを用いた講義と、担当教員と受講生による討論を行う。		
授業到達目標	科学的なものの見方を獲得する。疑似科学かどうかを判断するための方策を考えることができるようになる。科学と価値の関係について考察できるようになる。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各教員がテーマに基づいて講義を行う。		
	回	内容	
	1	4月11日 古谷吉男・上蘭恒太郎「開講のあいさつ:現代教育に欠けたもの」	
	2	4月18日 長島雅裕「血液型と性格」	
	3	4月25日 長島雅裕「超能力・UFOと宇宙人」	
	4	5月2日 武藤浩二「マイナスイオンと健康」	
	5	5月9日 武藤浩二「水からの伝言」	
	6	5月16日 武藤浩二「車・オーディオ・電磁波」	
	7	5月23日 長島雅裕「代替医療」	
	8	5月30日 全体討論会第1部:第1~7回の講義について教員・学生で討論する。	
	9	6月6日 小西祐馬「社会調査のリテラシー:統計データとの正しい接し方」	
	10	6月13日 小西祐馬「乳幼児の教育について:早期教育の問題点」	
	11	6月20日 安部俊二「蔓延する学位商法(ディプロマ・ミル)」	
	12	6月27日 安部俊二「裁判と(科学):血液型とDNA鑑定」	
	13	7月4日 上蘭恒太郎「(科学的思考)とはなにか」	
	14	7月11日 上蘭恒太郎「(自立)し、(考える)人間になるために」	
	15	7月18日 全体討論会第2部:第9~14回の講義について教員・学生で討論する。	

	16
キーワード	科学、疑似科学、前科学、宗教の歴史、認識論、感性、法医学、大学偽装
教科書・教材・参考書	教科書:長崎大学教育学部「疑似科学とのつきあいかた」研究会編『疑似科学とのつきあいかた:教師を目指す皆さんへ』 参考書:大村政男『新訂 血液型と性格』(福村出版)左巻健男『水は何にも知らないよ』(ディスカバートゥエンティワン)安斉育郎『科学と非科学との間』(かもがわ出版)伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』(名古屋大学出版会)池内了『疑似科学入門』(岩波新書)菊池誠・松永和紀・伊勢田哲治・平川秀幸『もうだまされないための「科学」講義』(光文社新書)木原善彦『UFOとポストモダン』(平凡社新書)菊池聡・谷口高士・宮元博章編『不思議現象 なぜ信じるのか』(北大路書房)庄司和晃『科学的思考とは何か』『科学ばかり主義の克服:未来の教育学のための人間研究』『人はなぜオカルトに魅かれるのか』(明治図書)南郷継正『弁証法・認識論への道』(三一書房)
成績評価の方法・基準等	講義テーマへの積極的な取り組みを重視する立場から課題レポート(5割)、討論を含む講義への貢献度および各教員が課した「レポート」の成績(5割)で総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120590090503	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清、関口 達夫、篠崎 正人、山崎 年子		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]429		
対象学生(クラス等)	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環407戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスパワー	月曜15-17時		
授業のねらい	この文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死しました。敗戦後、日本は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意しました。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業方法(学習指導法)	各講義ごとに、担当講師が講義に利用するプリントを用意し、講義を行なう。講師によってはビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業到達目標	戦争の実態についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	(4月11日)戸田清「ナガサキで平和学する」	
	2	(4月18日)安部俊二「100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争①」	
	3	(4月25日)安部俊二「100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争②」	
	4	(5月2日)山本建雄「国語科授業の中の戦争－戦前の場合」	
	5	(5月9日)山本建雄「国語科授業の中の戦争－戦後の場合」	
	6	(5月16日)浅野茂義「私の被爆・被爆後体験」	
	7	(5月23日)山崎年子「二重被爆の父と生きる」	
	8	(5月30日)戸田清「日本の戦争犯罪」	
	9	(6月6日)戸田清「劣化ウラン弾とベトナム枯葉剤」	
	10	(6月13日)関口達夫「長崎原爆を報道する①」	
	11	(6月20日)関口達夫「長崎原爆を報道する②」	
	12	(6月27日)藤田祐幸「福島原発事故」	
13	(7月4日)藤田祐幸「日本の政策と潜在的核武装」		

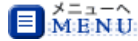
	14	(7月11日)篠崎正人「有事体制と長崎・佐世保①」
	15	(7月18日)篠崎正人「有事体制と長崎・佐世保②」
	16	
キーワード	昭和史、戦争、15年戦争、アヘン、原爆、劣化ウラン、枯葉剤、有事体制、イラク戦争、アフガン戦争	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は、高橋真司、舟越耿一編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電』を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極さと担当講師が課したレポートの成績を総合的に評価する。	
受講要件(履修条件)	受講要件は特にない。	
本科目の位置づけ	被爆地長崎の大学に学ぶ学生としての基本的な教養を身につけるための科目である。	
学習・教育目標	戦争と平和、暴力と平和についての理解力と洞察力を具体的な事例の学習を通じて深める。	
備考(URL)	http://todakivosi.web.fc2.com/80/	
備考(準備学習等)	新聞、テレビ、インターネットなどを通じて、戦争と平和、暴力と平和に関する日本と世界の動向に関心を持つことが望ましい。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1792秒です。



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_自由選択科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120590090601	科目番号	05900906
授業科目名	●キャリア概論		
編集担当教員	深尾 典男		
授業担当教員名(科目責任者)	深尾 典男		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	深尾 典男, 亀田 武嗣, 若江 真紀		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]201		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	fukao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	広報戦略本部		
担当教員TEL	095-819-2008		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	自己を理解し、社会で必要とされるスキルについて知ると同時に、自分の関心や価値観、大学での学びが今後の人生にどのように関わるかを考えるきっかけとする。また、勤労観と職業観を育み、キャリアデザインのための考え方や行動につなげるための手法を身につける。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、まず学生自らが自己分析を行い、講座の目的についての理解を図る。そのうえで社会人の体験を通じた気づきの機会を提供すると同時に、社会参画について具体的に考えるための仕事の情報を提示する。また、社会参画で求められる能力について実践力を養うための講義を行う。		
授業到達目標	大学4年間を通じた学びのために、それぞれが勤労観と職業観を養うと同時に、社会人としての基礎を学ぶ。また、自己分析と自己評価により、自己の肯定感を育む。		
授業内容	回	内容	
	1	キャリア講座の概要と狙い	
	2	社会理解(社会と自己の関わりを理解)	
	3	社会理解(社会の現状についての理解)	
	4	社会理解(業界・業種・職種を理解)	
	5	社会理解(自己の勤労観・職業観の形成)	
	6	社会参画で求められる能力の強化①発想力を磨く	
	7	社会参画で求められる能力の強化②情報収集とは	
	8	社会参画で求められる能力の強化③チーム力発揮の条件	
	9	社会参画で求められる能力の強化④コミュニケーション能力を高める	
	10	社会参画で求められる能力の強化⑤コミュニケーション能力を高める	
	11	プレゼンテーション能力を高める①キャリアプランの作成	
	12	プレゼンテーション能力を高める②キャリアプランの作成	
	13	プレゼンテーション能力を高める③パフォーマンス評価	
	14	プレゼンテーション能力を高める④パフォーマンス評価	
	15	キャリア講座を履修したうえでの自己分析と評価	

	16
キーワード	職業、仕事、社会人基礎、コミュニケーション、進路
教科書・教材・参考書	各自の携帯電話等を使用した学生のキャリアコンシャスアセスメントの実施、授業計画に沿って、パワーポイントを使用し、プリント、資料を配布する。
成績評価の方法・基準等	成績は課題レポートの平均点を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.